

署名のご協力、ありがとうございます！



左の資料からもわかるように、この10年間小中学校とも不登校の数は、増え続けています。彦根市も例外ではありません。全児童生徒に占める不登校の割合は、全国平均を上回っています。教育現場も教育行政も、必死で「不登校対策」を講じているにもかかわらずです。

てだのふあは、学校への生きづらさを抱える子どもたちが安心して過ごせる場として、2020年に開講しました。様々な体験教室や自然教室、異年齢集団での活動を通して、どの子ども笑顔が増え、本来の自分を取り戻していきます。元気を回復した子供たちは、次のステップへと踏み出します。

てだのふあでは、子ども自身が選択した道を全力で応援しています。

子どもの手記より

てだのふあに来る前は、いつも一人、家でも一人やった。自分の気持ちを話せるところがほしかった。そして、母が見つけてここに来た。

元気な子が遊んでくれた。話してくれた。話せる人ができた。いつの間にか自分が元気になった。気づいたときには、みんなに励まされてきた。

いまは、家族ともよくしゃべるようになった。泣くこともなくなった。ふつうの生活が戻ってきた。

まず、一番言いたいことは、本当にありがとう！たくさん愛してもらったし、たくさん笑顔にしてもらったし、たくさん勇気をくれたみんなが大好きです。

短期間でたくさん変わった気がします。暗かった私の人生を変えてくれた、明るくしてくれた、そんなみんなとてだのふあが大好きです。

* Kさん(中学3年生)

署名についてお願い！

- ◇締め切りは8月20日です。
 - ◇集約先は、てだのふあ宛(〒522-0081 彦根市京町1丁目7-33)にお願いします。(送料のご負担、お許し下さい！ 84円切手で4枚まで可です)。直接の場合は、「てだのふあ」までお願いします。月、火、木、金の10時～15時であればスクールにおります(休日、祝日は休みです)。
 - ◇法定署名ではないので、代筆、子ども(代筆)、彦根市外もOKです。
 - ◇署名用紙は、A4サイズでお願いします。
- 以上、よろしく願いいたします。

**持続可能な運営のためには、「公的支援」が不可欠です。
常勤スタッフには、せめて「最低賃金」を！
滋賀県教員の一人分で補えます。**

スタッフ給与を滋賀県の最低賃金で計算すると、月額約15万円となり、収入額からの差額（不足金）は、590万円にもなります。しかし、これは滋賀県教員の一人分の給与（平均、約663万円）で十分に埋め合わせることができます。

教員一人分の支援をしていただくことで、てだのふあの常勤スタッフ5人分の給与を保障することができます。

滋賀県の最低賃金967円で計算すると、
9時～17時（8時間／日）×開校日を20日＝160時間／月
967円×160＝15万4720円

常勤スタッフが一人15万円／月を頂く場合、約590万円の不足が・・・

収入額（年間）	支出額（年間）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用料金 480万円 (40万円×12ヶ月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家賃 60万円 ・ 光熱費 12万円 ・ 消耗品 12万円 ・ 講師やボランティアへの謝金等 86万円 ・ 人件費（5人分）900万円 (15万円×5人×12ヶ月)
480万円	1,070万円

→

現状では、スタッフの人件費を限りなく抑えてやりくりしています。休眠預金の助成を受けていますが来年度で終了です。



↑ てだのふあのホームページ